

Scope3 排出量の 2030 年度削減目標を策定

山陽特殊製鋼株式会社(代表取締役社長 宮本 勝弘、本社 兵庫県姫路市)は、持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、当社単体における Scope3 排出量の 2030 年度削減目標を新たに策定しました。

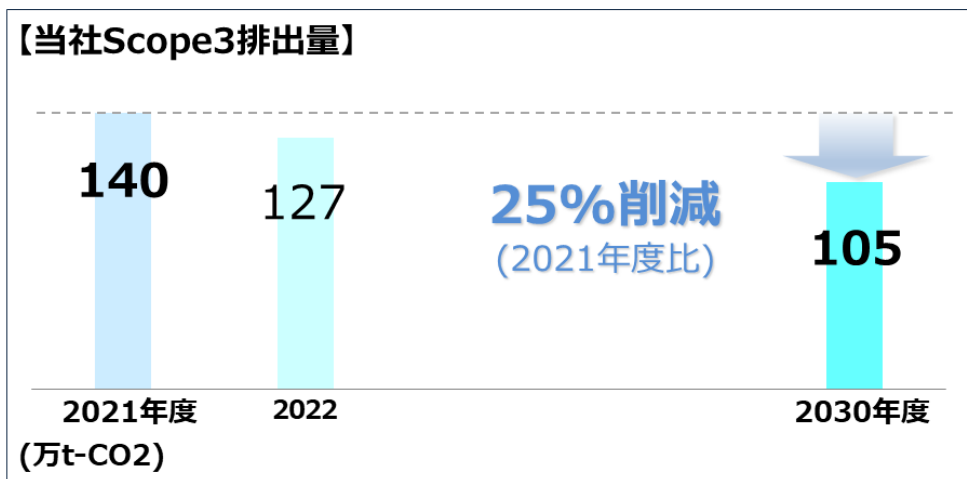
当社は、温室効果ガス排出量にあたる Scope1+Scope2 削減目標として、2030 年度までに 2013 年度比で 50%以上の削減を掲げて取り組みを進めておりますが、このたび、Scope3 削減目標として、「2030 年度までに 2021 年度比で 25%の削減」を掲げることといたしました。

今後は、サプライチェーンの皆様のご協力を得ながら*、Scope3 排出量削減に向けた取り組みを着実に推進してまいります。

*2024 年 4 月 23 日、Scope3 (カテゴリー1) に関わる主要取引先向け説明会を開催しました。

当社単体の温室効果ガス削減目標

	2030 年度目標	2050 年度目標
Scope1+Scope2	2013 年度比で 50%以上の削減	カーボンニュートラル
Scope3 (新規)	2021 年度比で 25%の削減	—



当社は、気候変動をはじめとする地球環境の問題が人類の存続に影響を与える重要な課題であるとの認識のもと、引き続き持続可能な社会の実現に向けた取り組みと適正な情報開示を積極的に推進してまいります。

以上